

関東車椅子バスケットボール連盟から5名の選手が日本代表に選出 ～神遊協は本年から同連盟のオフィシャルサポーターになりました～

神奈川県遊技場協同組合(理事長：伊坂重憲 以下、「神遊協」という。)では、[一般社団法人関東車椅子バスケットボール連盟](#)(代表理事 高橋俊一郎 以下、「関東連盟」という。)に対し、昨年からの選手の育成や活動の支援として年30万円を支援していますが【[参考記事](#)】、本年9月に開催されるリオパラリンピックに関東連盟から選手5名、アシスタントコーチ1名が日本代表として金メダルを目指して挑みます。皆様の熱い応援をお願いします。

神遊協は本年4月に関東連盟のオフィシャルサポーターになりました。4年後に東京で開催される国際大会でのメダル獲得に向け、世界で通用する選手の育成・強化活動のため関東連盟の支援を続けて参ります。

※青字の部分は関連情報にリンクしています。

1. 関東連盟の概要	関東連盟は東京を除く関東6県で活動している車椅子バスケットボールチームの連盟で神奈川では最多の8チームが加盟しています。
2. オフィシャルサポータの期間	平成28年から平成32年(2020年)までの間 (支援は昨年から行っており、今年で2年目です。)
3. 支援金額	毎年30万円(昨年からの2020年まで6年間継続)



神奈川県遊技場協同組合